



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月2日

上場会社名 株式会社 松風

上場取引所 東

コード番号 7979 URL <http://www.shofu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 根来 紀行

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務部長 (氏名) 梅田 隆宏

TEL 075-561-1112

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

平成29年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	11,701	5.9	742	7.2	853	67.6	635	111.2
29年3月期第2四半期	11,052	4.7	800	5.0	509	38.3	301	39.3

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,594百万円 (%) 29年3月期第2四半期 166百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	40.01	39.77
29年3月期第2四半期	18.91	18.78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	30,473	23,710	77.4	1,484.35
29年3月期	28,853	22,296	76.9	1,396.74

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 23,598百万円 29年3月期 22,185百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		8.00		12.00	20.00
30年3月期		8.00			
30年3月期(予想)				12.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 29年3月期期末配当金の内訳 創立95周年記念配当 2円00銭
30年3月期(予想)期末配当金の内訳 創立95周年記念配当 2円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,970	7.5	1,488	7.7	1,403	23.0	959	14.6	60.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	16,114,089 株	29年3月期	16,114,089 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	215,621 株	29年3月期	230,355 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	15,892,149 株	29年3月期2Q	15,925,633 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく変動する可能性があることをお含みおき下さい。業績予想に関する事項については、添付資料P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用).....	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)における世界経済は、先進国を中心に緩やかな回復基調で推移しましたが、米国の政権運営の動向や不安定な北朝鮮情勢など、景気の下振れリスクも依然として残る状況にあります。国内経済については、好調な企業収益を背景に雇用・所得情勢が改善するなど、緩やかな回復基調が続いております。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、11,701百万円と前年同期比648百万円(5.9%)の増収となりました。売上高に含まれる海外売上高は、4,927百万円(対売上高42.1%)と前年同期比511百万円(11.6%)の増収となりました。

利益面では、売上原価率の上昇や販売費及び一般管理費が前年同期比224百万円(3.9%)増加したことにより、営業利益は742百万円と前年同期比57百万円(7.2%)の減益となりました。しかし、為替の影響などにより営業外損益が好転したため、経常利益は853百万円と前年同期比344百万円(67.6%)の増益となりました。特別利益に投資有価証券売却益を計上した結果、税金費用を差し引いた親会社株主に帰属する四半期純利益は、635百万円と前年同期比334百万円(111.2%)の増益となりました。

(デンタル関連事業)

国内では、市場での競争が激しさを増す中、当第2四半期連結累計期間に市場投入したデジタル口腔撮影装置「アイススペシャルC-III」や前連結会計年度に市場投入した前臼歯対応歯冠用硬質レジン「セラマージュ デュオ」などの新製品が売上げに寄与したものの、売上高は前年同期並みとなりました。海外では、北米・中南米や中国を中心に各地域で堅調に推移し、さらに為替の影響もあり前年同期比増収となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、10,441百万円と前年同期比345百万円(3.4%)の増収となりましたが、売上原価率の上昇や販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は717百万円と前年同期比95百万円(11.7%)の減益となりました。

(ネイル関連事業)

当第2四半期連結累計期間に市場投入したジェルネイルの新ブランド「ageha」が売上げを牽引し、また、一般消費者向けジェルネイルシステム「by Nail Labo」が好調に推移し、国内売上げは前年同期比増収となりました。海外では、積極的な販売活動が功を奏し、アメリカや台湾においてLEDジェル「Presto」の売上げが好調に推移いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,210百万円と前年同期比296百万円(32.5%)の増収となり、営業利益は13百万円と黒字に転じ、前年同期比39百万円の増益となりました。

(その他の事業)

当社グループの株式会社松風プロダクツ京都において、歯科用研磨材の生産技術を応用し、工業用研磨材を製造販売しております。当第2四半期連結累計期間の売上高は、49百万円と前年同期比5百万円(13.8%)の増収となりましたが、売上原価率の上昇により、営業利益は8百万円と前年同期比3百万円(26.6%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,620百万円増加し、30,473百万円となりました。

資産の増加の主な要因は、時価上昇による投資有価証券の増加であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ206百万円増加し、6,762百万円となりました。長期繰延税金負債などの固定負債その他の増加が主な要因であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,414百万円増加し、23,710百万円となりました。利益剰余金やその他有価証券評価差額金の増加が主な要因であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.5ポイント上昇し、77.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,997	4,881
受取手形及び売掛金	3,138	3,227
有価証券	5	5
商品及び製品	3,666	4,067
仕掛品	882	890
原材料及び貯蔵品	817	977
その他	871	1,048
貸倒引当金	△93	△99
流動資産合計	14,286	14,998
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,096	8,140
減価償却累計額	△4,917	△5,038
建物及び構築物(純額)	3,179	3,102
その他	9,557	9,882
減価償却累計額	△6,054	△6,317
その他(純額)	3,503	3,565
有形固定資産合計	6,682	6,667
無形固定資産		
のれん	558	590
その他	980	1,022
無形固定資産合計	1,538	1,613
投資その他の資産		
投資有価証券	5,304	6,262
退職給付に係る資産	710	611
その他	338	333
貸倒引当金	△8	△13
投資その他の資産合計	6,345	7,194
固定資産合計	14,566	15,475
資産合計	28,853	30,473

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	612	611
1年内返済予定の長期借入金	505	505
未払法人税等	312	386
役員賞与引当金	30	16
その他	1,753	1,844
流動負債合計	3,215	3,364
固定負債		
長期借入金	1,225	975
退職給付に係る負債	198	207
その他	1,918	2,215
固定負債合計	3,341	3,398
負債合計	6,556	6,762
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,474	4,474
資本剰余金	4,576	4,576
利益剰余金	11,150	11,592
自己株式	△252	△236
株主資本合計	19,949	20,408
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,318	3,003
為替換算調整勘定	△176	65
退職給付に係る調整累計額	93	121
その他の包括利益累計額合計	2,235	3,190
新株予約権	92	90
非支配株主持分	18	21
純資産合計	22,296	23,710
負債純資産合計	28,853	30,473

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	11,052	11,701
売上原価	4,504	4,986
売上総利益	6,547	6,714
販売費及び一般管理費	5,747	5,971
営業利益	800	742
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	42	50
会費収入	54	51
為替差益	-	133
その他	50	45
営業外収益合計	150	283
営業外費用		
支払利息	5	4
売上割引	83	81
当社主催会費用	68	60
為替差損	263	-
その他	20	26
営業外費用合計	441	172
経常利益	509	853
特別利益		
投資有価証券売却益	-	23
特別利益合計	-	23
税金等調整前四半期純利益	509	876
法人税等	206	237
四半期純利益	302	639
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	301	635

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	302	639
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	182	685
為替換算調整勘定	△674	241
退職給付に係る調整額	22	27
その他の包括利益合計	△469	954
四半期包括利益	△166	1,594
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△167	1,590
非支配株主に係る四半期包括利益	0	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デンタル 関連事業	ネイル 関連事業	その他の 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	10,095	913	43	11,052	—	11,052
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	0	3	4	△4	—
計	10,096	913	46	11,056	△4	11,052
セグメント利益又は損失(△)	812	△26	12	798	2	800

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デンタル 関連事業	ネイル 関連事業	その他の 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	10,441	1,210	49	11,701	—	11,701
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	0	3	4	△4	—
計	10,442	1,210	52	11,705	△4	11,701
セグメント利益	717	13	8	739	3	742

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。